



# 連合大学院 2021 年度修士論文発表会

主催：公益社団法人 教育文化協会  
連帯社会研究交流センター

参加費無料  
要申込  
Zoom 開催

「連帯社会研究交流センター」は、連合、教育文化協会、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、連合大学院第6期生（2021年度修了予定）12名による修士論文要旨報告会を下記のように開催いたします。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

参加申し込みは、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行いますので、同サイトの「イベント・シンポジウム」のページ<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。なお、Zoom ミーティングへのログインに必要な URL、ID、パスワードなどの情報は、ウェブサイト上の参加申込書にご登録いただいた参加予定者の e-mail 宛に、ご連絡します。事前連絡等事務手続きの都合上、参加申込は開催当日の前々日 17:00 までとさせていただきます。

## 連合大学院第6期生 修士論文発表会

日時 2022年2月26日（土）13:00～17:30

場所 Zoom 開催 〈参加申込は2月24日（木）17:00 までにお願ひします。〉

### プログラム \*Zoom 開催\* （議事の詳細は裏面参照）

13:00 開会

13:05 ～ 16:45 12名の論文要旨発表と質疑応答

- |               |            |         |
|---------------|------------|---------|
| (1) 労働組合プログラム | 座長：中村圭介教授  | （発表者6名） |
| (2) 協同組合プログラム | 座長：伊丹謙太郎教授 | （発表者5名） |
| (3) NPOプログラム  | 座長：柏木宏教授   | （発表者1名） |

16:45 ～ 17:30 フロアからの発言とまとめ

※連帯社会研究交流センター・ウェブサイトで参加申込いただいた方には、ご指定のメールアドレス宛に、Zoom 会議開催 URL、ログイン ID、パスワードをご連絡します。

～お問い合わせ～  
連帯社会研究交流センター（ReCSS）  
e-mail: [info@recss.jp](mailto:info@recss.jp)  
URL: <http://recss.jp>

# 議 事 次 第

総合司会 木村裕士 連帯社会研究交流センター 運営委員長

13:00 開会挨拶 中村圭介 連帯社会研究交流センター センター長

13:05~16:45 論文要旨発表と質疑応答

(各発表者の持ち時間は各20分以内。発表時間15分、質疑時間5分を目安とする。)

(1) 労働組合プログラム 座長：中村圭介教授

- 阿部涼介 組合離れから組合活性化へ～組合員意識調査からの考察～
- 神原尚幸 労働組合活性化と青年部再結成—ある労働組合の事例を素材に
- 新沼かつら 日本の労働組合による雇用対策—大手4産別による単組支援を中心に
- 星野裕一 連合の政策参加におけるインサイダー戦略とアウトサイダー戦略  
—「サラリーマン増税阻止」キャンペーンを事例として—
- 山崎凡 就業者の高年齢化と労働災害—新聞販売業でその課題を探る
- 吉田泰 東京都政における利益団体の政策関与  
—就労支援・ソーシャルファーム促進条例の政策形成過程の検証—

(2) 協同組合プログラム 座長：伊丹謙太郎教授

- 岩田恭彦 規制の変遷と仕組（商品）・組織からみる共済と保険の違い  
—制度共済を巡る諸論点と連合会組織からの考察—
- 小正貴大 “協同”を基盤とする組織形態の多様性とその展望  
—共同売店の経営分析を中心に—
- 島村希里 雇用によらない働き方における就労環境の問題と協同組合可能性
- 藤谷哲平 長野県の協同組合における健康増進活動について  
—JA 長野厚生連の活動を中心に—
- 森谷久子 特定地域づくり事業協同組合制度の可能性と課題—海士町複業協同組合を事例に

(3) NPOプログラム 座長：柏木宏教授

- 付国俊 NPO 法人の経営におけるマーケティング活用の現状と課題  
～R-STP と 4P の活用実態に関する調査からの考察～

16:45~17:30 フロアからの発言とまとめ

- フロアからの発言
- まとめ 中村圭介センター長

(上記の時間割は、進行の目安である。閉会時間は当日の進行次第によるが、遅くとも17:30までには閉会する。)

以上